

## 後援者挨拶

藤田 雄山  
広島県知事

本日、「第5回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム」が、国内外から多くの皆様をお迎えし、このように盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げますとともに、開催にご尽力いただきました環境省をはじめ、関係者の皆様に対し、心よりお礼申し上げます。

環境ホルモン問題については、将来にわたって、人の健康や、生態系への影響が懸念されておりますが、科学的には未解明な点が多く残されております。

このため、近年、世界各国で調査研究が行われており、我が国においても、1998年に「環境ホルモン戦略計画 SPEED'98」が策定され、環境ホルモン問題に対する基本的な考え方及び具体的な対応方針が示されたところでございます。

本県におきましても、県民生活の安全と安心を図るための基礎的な調査として、1999年度から、環境ホルモンの環境汚染の状況について独自の調査を実施しているところでございます。

こうした中、本県でこの度のシンポジウムが開催されますことは、大変意義深いものと考えております。

このシンポジウムを通じ、世界各国の環境ホルモン問題に携わる方々の情報共有化が促進され、今後の研究が一層進展するとともに、1人でも多くの方が、環境ホルモン問題についての理解を深められることを期待しているところでございます。

また、ここ広島県には、美しい瀬戸内海、その瀬戸内海に優雅な姿で浮かぶ世界遺産の宮島・厳島神社、世界平和の象徴である原爆ドームなど名所旧跡が多数あります。

是非、この機会に、広島県の素晴らしさを体感していただければと願っております。

終わりにになりましたが、当シンポジウムのご盛会と皆様方のご健勝を心より祈念いたしまして、歓迎の御挨拶といたします。